

醍醐中央図書館開館 25 周年記念企画

よもうちゃんと



その2

こどもの本じゅずつながり

醍醐中央図書館は令和4年で開館25周年になりました！

醍醐中央図書館公式キャラクターの「よもうちゃん」が、京都にある色々な子どもの本屋さんや、醍醐中央図書館の近くの小学校の学校図書館の図書館司書さんに会いに行ってきました！

子どもの本専門店 メリーゴーランド京都



〒600-8018

京都市下京区河原町通四条下ル市之町 251-2 寿ビルディング 5F
四条河原町にあるクラシックなビルの5階にある子どもの本の専門店。
約 4000 冊の絵本、書籍が並びます。コンパクトな店内に絵本や子どもの本がずらり。美しい落ち着いたグリーンの本棚が印象的。隣のギャラリーでは展覧会が随時開催されていて、素敵な出会いが待っている本屋さんです。

子どもの頃に読んでいた1冊をおしえてください。

『大きな森の小さな家』 ローラ・インガルス・ワイルダー著 福音館書店

知恵や工夫の詰まった暮らしぶりに感激して、夢中で読みました。父さんも母さんも、そして子どもたちもみんなが尊重し合いながら、支え合って生活している様子に子どもながらに心動かされたのかもしれない。

最近読んだ1冊は？

『ふるさと、夏』 しばたかつも 著 福音館書店

「なんだかわからない」「少し怖い」「得体の知れない」そんな存在を人は昔から、近くに感じながら暮らしていたのだと思いました。忘れてはいけない大切な物語だと思います。

今、子どもたちにおすすめしたい1冊は？

『海のアトリエ』 ほりかわりまこ 著 偕成社

大人も子どもも、たくさんの人との関わりの間で生きていて、ふと出会った誰かとの会話や、過ごした時間が、人生の宝物になる事があるのだということを改めて気付かせてくれた一冊です。



『海のアトリエ』
堀川理万子(著)
発行:偕成社

店長・鈴木さんよりひとこと



一度でいい。本の中にどっぷりと身を委ねて見て欲しいです。深い深い物語の世界に入り込んで欲しいです。本の面白さを味わって欲しいです。そんな本とあなたが出会えることを心から願っています。

丸善 京都本店



〒604-8032

京都市中京区河原町通三条下ル山崎町 251

京都 BAL 地下 1 階～地下 2 階

河原町のおしゃれなファッションビル・京都 BAL 地下 B1・B2F にある大型書店。B1F の一角に子どもの本のコーナーがあります。たくさんの絵本や児童向けの読み物が揃っていて、いろいろなテーマで展示をされています。大人も子どももわくわく楽しめる書店です。B2F の喫茶店のレモンのケーキもとってもおいしくておすすめですよ！

子どもの頃に読んでいた 1 冊をおしえてください。

『だれも知らない小さな国』 佐藤さとる著 講談社

小学校 4 年生の時に読んだ本です。ちょっとずつ読み進めた 1 冊です。小人がいるなんて。その世界を助けることができるなんて。

最近読んだ 1 冊は？

『うちのおかあちゃん』 こてまり 小手鞠るい著 こしだミカ絵 偕成社

おかあさんてどんな人？目が見えなくなっても いじ 意地が悪くても、ガッツがあつてやさしくて しやみせん 三味線が上手な こてまり 小手鞠さんの じつ 実のおかあさん。

今、子どもたちにおすすめしたい 1 冊は？

『ゴムあたまポンたろう』 ちやうしんた 長新太著 童心社

ポンたろうは、頭がゴムでできているので、どこかにぶつかるとボールの様に空を飛んでいきます。いろんな所にいけて楽しいですよ。

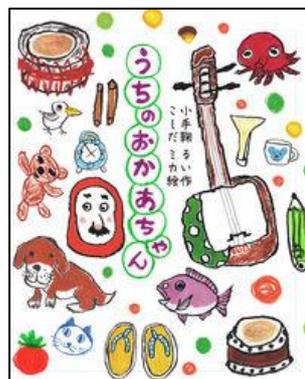
高木さんよりひとこと



本屋に並んでいる本は、数少ないとは思いますが、図書館同様、読みたい本を尋ねて頂くと、問い合わせのあった本等、すぐにはお返事できないこともありますが、調べることができます。どうぞ、お気軽にお問い合わせください。



『だれも知らない小さな国』
佐藤 さとる(著)
発行:講談社



『うちのおかあちゃん』
小手鞠るい(著)、こしだミカ(絵)
発行:偕成社



『ゴムあたまポンたろう』
長 新太(著)
発行:童心社

醍醐中央図書館近くの学校図書館紹介

春日野小学校



〒601-1425

京都市伏見区日野田中町31

学校長 當麻 章英 先生

学校図書館司書・永井知佳子さん からひとことメッセージ

子どもたちが、本の楽しさを知り、いつでも読みたいときに本を手にとることができる環境を一緒に作っていただければと思います。

子どもの頃に読んでいた1冊をおしえてください。

『きょうはなんのひ?』瀬田貞二著 林明子絵 福音館書店

林明子さんの絵本が大好きでした。この絵本の手紙さがしが、楽しくて何度も読み返していたのを覚えています。

最近読んだ1冊は?

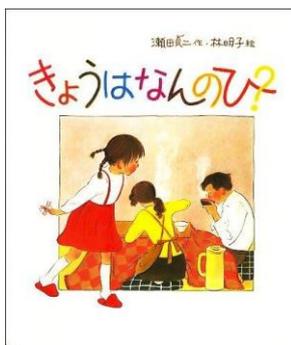
『本当の「頭のよさ」ってなんだろう?』齋藤孝著 誠文堂新光社

とくに「本とどうつきあうか?」という章が面白かったです。本は「どこでもドア」。今も昔も不思議な世界に開けば行ける、小さな本の偉大さをもう一度感じました。

今、子どもたちにおすすめしたい1冊は?

『ルピナスさん』バーバラ・クーニー著 ほるぷ出版

世の中をうつくしくするために村中にルピナスの花の種をまいた女性のお話。20代の頃に出会った本ですが、今でも心に残る一冊です。



『きょうはなんのひ?』
瀬田貞二(著), 林明子(絵)
発行: 福音館書店



『本当の「頭のよさ」ってなんだろう?』
齋藤 孝(著)
発行: 誠文堂新光社



『ルピナスさん』
バーバラ・クーニー(著)
発行: ほるぷ出版

池田東小学校

〒601-1355

京都市伏見区醍醐多近田町 2-2

学校長 辻 佳英 先生



学校図書館司書・中村久美子さん からひとことメッセージ
本の世界は、日常では味わえない心地よい刺激を与えてくれます。一冊の本がきっかけで、想いに変化がうまれることもあります。まずは一冊の本を手にし、読んでみてください。

子どもの頃に読んでいた 1冊をおしえてください。

『ジャックと豆の木』 ジョン・シェリー著 福音館書店

何回読んでもハラハラ・ドキドキさせられる絵本で大好きでした。天まで伸びる不思議な豆がほしかったです。

最近読んだ 1冊は？

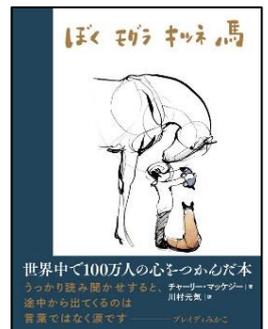
『貝の火』 宮沢 賢治著 三起商行

川でおぼれていたヒバリの子を助けた子ウサギが王様から「貝の火」をもらいます。貝の火が消えないようにと願いながら読みました。

今、子どもたちにおすすめしたい 1冊は？

『ぼく モグラ キツネ 馬』 チャーリー・マッケジー著 飛鳥新社

人間の“ぼく”がモグラ・キツネ・馬と順番に会い、旅の仲間を増やしながら旅をするお話です。優しさ、友情……が感じられました。



『ぼく モグラ キツネ 馬』
チャーリー・マッケジー(著)
発行:飛鳥新社

みんなでヨモウ!知と夢が出会う場所



醍醐中央図書館公式キャラクター
よもうちゃん



令和 4 年 10 月 7 日発行

京都市醍醐中央図書館

〒601-1375 京都市伏見区醍醐高畑町 3 0 番地の 1

パセオ・ダイゴロー西館 4 階

TEL 075 (575) 2584

FAX 075 (575) 2587